

製品名: CES2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08686**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	61kDa

抗原情報

遺伝子名	CES2
別名	CES2; ICE; Cocaine esterase; Carboxylesterase 2; CE-2; hCE-2; Methylumbelliferyl-acetate deacetylase 2
遺伝子 ID	8824.0
SwissProt ID	O00748
免疫原	ヒト CES2 の内部領域から得られた合成ペプチド。

背景

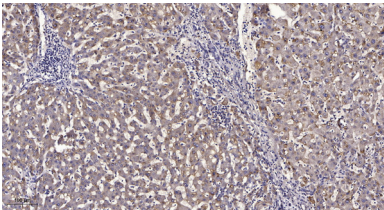
この遺伝子は、カルボキシルエステラーゼ大ファミリーのメンバーをコードします。このファミリーのメンバーは、コカインやヘロ

インなどの様々な生体外物質、およびエステル、チオエステル、またはアミド結合を持つ内因性基質の加水分解またはエステル交換反応を担っています。脂肪酸アシルおよびコレステロールエステルの代謝に関与し、血液脳関門系において役割を果たしている可能性があります。この遺伝子によってコードされるタンパク質は主要な腸管酵素であり、腸管薬物クリアランスに機能します。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2010年10月],触媒活性: カルボン酸エステル + H₂O = アルコール + カルボン酸塩。機能: 生体外物質の解毒およびエステルおよびアミドプロドラッグの活性化に関与します。4-メチルペリフェリルアセテート、ヘロイン、および6-モノアセチルモルヒネの加水分解に対して高い触媒効率を示す。PTM: グリコシル化。類似性: B型カルボキシルエステラーゼ / リパーゼファミリーに属する。サブユニット: モノマー。組織特異性: 腸管で優先的に発現し、肝臓でも中程度の発現を示す。腸管内では、小腸で最も高い発現が認められ、結腸および直腸では低い発現を示す。

研究分野

薬物代謝;

画像データ



パラフィン包埋ヒト肝癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。